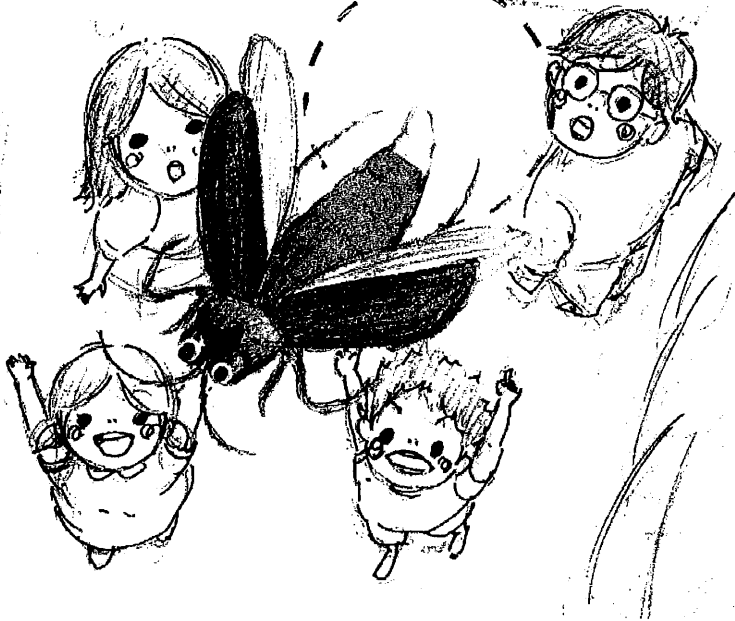


第11回ヒメボタルサミット in 愛知



ヒメボタルを知っていますか？

陸生で、小さいことからヒメボタルと呼ばれています。小さいけれど黄金色の力強いストロボ光が、初夏の夜に街中でも幻想的に輝きます。そして、5月末に発光のピークを迎えます。

2012年のサミットは、

- ・5月末～6月初めの観察会
- ・8月19日(日)のオープンセミナーの2部構成で開催しています。

■オープンセミナー「ヒメボタル情報交換会」(名古屋市科学館と共催)

日時：平成24年8月19日(日)14時から16時

場所：名古屋市科学館生命館6階学習室

名古屋市中区栄二(白川公園内)地下鉄「伏見」駅下車,5番出口より南へ徒歩5分

参加費無料(別途入館料が必要です)、連絡先：岡村 okamura@sda.nagoya-cu.ac.jp

(内容)「かるたで学ぼう!ヒメボタル かるた取りも体験しよう」

「2012年のヒメボタル観察会報告」

「生態工学的知見から考えるヒメボタルの未来」

(一言)関西、愛知の大都市を始めとした各地域にて、これまでその生態を隠しひっそりと生きてきたヒメボタルが、今日、その市民権を得てきている。反面、その存在を知られることで人間生活との関わりを持つこととなり、いまだに彼らの生息地が脅かされる結果になっていることも否めない。これまで、そしてこれからのヒメボタルの住む森と我々人間との共存の方向性について、これを機に考えてみたいと思う。

「岩手県折爪岳の見学報告、津波限界と生息地の関係」

「知多の遅姫」知多の幼虫調査報告

「庄内川生息地の豪雨被害」

「名古屋城外堀ヒメボタルお話し会報告」「外堀ヒメボタル自然飼育箱観察報告」

などを予定しています。

■ヒメボタル観察会(終了しました) 名古屋城外堀(5/26&6/2), 相生山緑地(5/27),

守山区才井戸流(6/10), 緑区(5/26), 東浦・東海・美浜(5/19)

主催：「ヒメボタルサミット in 愛知」実行委員会

(構成団体：相生山緑地自然観察会, 雨池ボタルの会, 名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち
名古屋の野螢・見・守り隊, 平子ヒメボタルの会 他 50音順)